

回答が多かった順に第3位まで記載している。 [] については、自由記入での回答を類型化して集計したものである。				装着訓練時																
				ユーザー回答						医療機関回答										
				職業生活		日常生活		他の義手に比べ優れている点		%		他の義手に比べ有用な点		%		適合判定結果				
				受傷前作業をできる割合	回答総数に対する割合(%) ※数中(%)は四捨五入	受傷前日常生活動作ができる割合	%									社会生活又は職場における継続的な使用の見込みがある理由	%	筋電動義手の支給をする理由	%	
前腕切断者	23人	①	ほとんどできる	52.2	①	ほとんどできる	59.1	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	33.9	①	両手動作が行えること	35.3	①	日常生活動作に有用である	25.0	①	職場での作業に有用である	41.5	
		②	5割方できる	34.8	②	5割方できる	27.3	②	ハーネスが不要であること	30.2	②	把握力が強いこと	20.6	②	本人が有用性を理解している	21.9	②	日常生活動作に有用である	24.4	
		③	全てできる	13.0	③	全てできる	13.6	③	重い物が持てること	20.8	③	重い物が持てること	14.7	③	本人が操作を習得している	18.8	③	本人が操作を習得している	17.1	
利き手	利き手を切断した者	14人	①	ほとんどできる	64.3	①	ほとんどできる	61.5	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	35.3	①	両手動作が行えること	26.1	①	日常生活動作に有用である	25.0	①	職場での作業に有用である	46.2
			②	5割方できる	28.6	②	5割方できる	30.8	②	ハーネスが不要であること	29.4	②	把握力が強いこと	21.7	②	本人が有用性を理解している	20.0	②	日常生活動作に有用である	26.9
			③	全てできる	7.1	③	全てできる	7.7	③	重い物が持てること	20.6	③	重い物が持てること	17.4	③	本人が操作を習得している	20.0	③	本人が有用性を理解している	15.4
断端部の状態	疼痛がある者	5人	①	5割方できる	60.0	①	ほとんどできる	40.0	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	33.3	①	両手動作が行えること	57.1	①	日常生活動作に有用である	28.6	①	職場での作業に有用である	57.1
			②	全てできる	20.0	②	5割方できる	40.0	②	ハーネスが不要であること	33.3	②	把握力が強いこと	14.3	②	本人が有用性を理解している	28.6	②	日常生活動作に有用である	28.6
			③	ほとんどできる	20.0	③	全てできる	20.0	③	重い物が持てること	33.3	③	重い物が持てること/ADLが拡大すること	14.3	③	本人が社会復帰に意欲的である/本人が操作を習得している	14.3	③	本人が操作を習得している	14.3
断端部の状態	瘢痕等がある者	6人	①	ほとんどできる	66.6	①	ほとんどできる	83.3	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	33.3	①	両手動作が行えること	42.9	①	日常生活動作に有用である	37.5	①	職場での作業に有用である	38.5
			②	全てできる	16.7	②	全てできる	16.7	②	ハーネスが不要であること	33.3	②	上方・下方での作業ができること	28.6	②	職場の作業に有用である	12.5	②	日常生活動作に有用である	30.8
			③	5割方できる	16.7	③	5割方できる	16.7	③	重い物が持てること	25.0	③	把持力が強いこと/重い物が持てること	14.3	③	本人が社会復帰に意欲的である/本人が有用性を理解している/本人が操作を習得している/本人の身体状況が改善する	12.5	③	本人が操作を習得している	23.1
断端部の状態	幻肢がある者	14人	①	ほとんどできる	57.1	①	ほとんどできる	64.3	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	34.4	①	両手動作が行えること	42.1	①	日常生活動作に有用である	31.3	①	職場での作業に有用である	41.7
			②	5割方できる	35.7	②	5割方できる	28.6	②	ハーネスが不要であること	31.3	②	把持力が強いこと	21.1	②	職場の作業に有用である	25.0	②	日常生活動作に有用である	25.0
			③	全てできる	7.2	③	全てできる	7.1	③	重い物が持てること	25	③	重い物が持てること/上方・下方での作業ができること	10.5	③	本人が有用性を理解している/理解している/本人が操作を習得している/本人の身体状況が改善する	12.5	③	本人が有用性を理解している	16.7
非切断肢	健康でない者	5人	①	ほとんどできる	60.0	①	ほとんどできる	50.0	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	44.4	①	両手動作が行えること	50	①	本人が有用性を理解している	40.0	①	職場での作業に有用である	66.7
			②	5割方できる	40.0	②	5割方できる	50.0	②	ハーネスが不要であること	33.3	②	重い物が持てること	16.7	②	日常生活動作に有用である	20.0	②	日常生活動作に有用である	16.7
			③	全てできる		③	全てできる		③	重い物が持てること	22.3	③	細かい作業ができること/自分で着脱可能なこと	16.7	③	職場の作業に有用である/本人が社会復帰に意欲的である	20.0	③	本人が操作を習得している	16.7
義手経験	能動式義手の経験のある者	17人	①	ほとんどできる	64.7	①	ほとんどできる	62.5	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	37.2	①	両手動作が行えること	38.5	①	本人が操作を習得している	20.8	①	職場での作業に有用である	39.4
			②	5割方できる	23.5	②	全てできる	18.8	②	ハーネスが不要であること	32.6	②	把持力が強いこと	19.2	②	日常生活動作に有用である	16.7	②	日常生活動作に有用である	24.2
			③	全てできる	11.8	③	5割方できる	18.8	③	重い物が持てること	18.6	③	重い物が持てること	11.5	③	職場での作業に有用である/本人が社会復帰に意欲的である/本人が有用性を理解している	16.7	③	本人が有用性を理解している/本人が操作を習得している	15.2

<p>回答が多かった順に第3位まで記載している。</p> <p>□□□□については、自由記入での回答を類型化して集計したものである。</p>		装着訓練時																		
		ユーザー回答						医療機関回答												
		職業生活		日常生活		他の義手に比べ優れている点		%		他の義手に比べ有用な点		%		適合判定結果						
		受傷前作業をできる割合	回答総数に対する割合(%) ※表中(%)は同じ	受傷前日常生活動作ができる割合	%									社会生活又は職場における継続的な使用の見込みがある理由	%	筋電動義手の支給をする理由	%			
上腕切断者 <small>※断端部の癒復等はなく、全て幻肢があり、かつ、能動式義手の経験有り。</small>	4人	①	ほとんどできる	50.0	①	ほとんどできる	75.0	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	40.0	①	把持力が強いこと	33.3	①	職場での作業に有用である	37.5	①	職場での作業に有用である	33.3	
		②	5割方できる	50.0	②	5割方できる	25.0	②	把持力が強いこと	30.0	②	細かい作業ができること	33.3	②	能動義手と比べ作業に有用である	37.5	②	本人が操作を習得している	33.3	
		③			③			③	ハーネスが不要であること	20.0	③	両手動作が行えること/ADLが拡大すること	16.7	③	日常生活動作に有用である	25.0	③	能動義手に比べ作業に有用である/本人が社会復帰に意欲的である	17.1	
利き手	利き手を切断した者	3人	①	ほとんどできる	66.7	①	ほとんどできる	100	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	33.3	①	把持力が強いこと	40.0	①	職場での作業に有用である	50.0	①	職場での作業に有用である	40.0
			②	5割方できる	33.3	②			②	把持力が強いこと	33.3	②	細かい作業ができること	40.0	②	能動義手と比べ作業に有用である	33.3	②	能動義手に比べ作業に有用である	20.0
			③			③			③	ハーネスが不要であること	22.2	③	両手動作が行えること	20.0	③	日常生活動作に有用である	16.7	③	本人が社会復帰に意欲的である/本人が操作に習得している	20.0
断端部の状態	疼痛がある者	1人	①	ほとんどできる	100	①	ほとんどできる	100	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	25.0	①	把持力が強いこと	50.0	①	日常生活動作に有用である	33.3	①	本人が社会復帰に意欲的である	50.0
			②			②			②	ハーネスが不要であること	25.0	②	細かい作業ができること	50.0	②	職場での作業に有用である	33.3	②	本人が操作を習得している	50.0
			③			③			③	重い物が持てること/把持力が強いこと	25.0	③			③	能動義手と比べ作業に有用である	33.3	③		

回答が多かった順に第3位まで記載している。

「 」については、自由記入での回答を類型化して集計したものである。

装着後1年経過後

ユーザー回答

職業生活

日常生活

使用の有無

使用している作業

%

使用の有無

使用している作業

%

他の義手に比べ優れている点

%

今後に必要な理由

%

前腕切断者

23人

使用	20人	①	指先位置の固定が必要な作業	22.6	使用	18人	①	外出時に利用している	17.9	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	27.1	①	仕事に有効である	25.0
未使用(注)	1人	②	両手で物を持つ作業	19.4	未使用(注)	3人	②	常時使用している	10.7	②	ハーネスが不用であること	25.0	②	把持力が強い	12.5
就労なし	2人	③	重量物を持つ作業	19.4	未回答	2人	③	把持力が必要な作業/重量物を持つ/車の運転	10.7	③	重い物が持てること	25.0	③	ADLが拡大する	12.5

利き手

利き手を切断した者

14人

使用	13人	①	指先位置の固定が必要な作業	30.0	使用	10人	①	外出時に利用している	14.3	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	25.0	①	仕事に有効である	19.0
未使用(注)	1人	②	重量物を持つ作業	20.0	未使用(注)	3人	②	常時使用している	14.3	②	重い物が持てること	25.0	②	ADLが拡大する	19.0
就労なし	0人	③	両手で物を持つ作業	15.0	未回答	1人	③	把持力が必要な作業/車の運転/日常生活全般	14.3	③	ハーネスが不用であること	22.2	③	把持力が強い	14.3

断端部の状態

疼痛がある者

5人

使用	4人	①	把持力が強い作業	50.0	使用	4人	①	外出時に利用している	28.6	①	ハーネスが不用であること	30.0	①	仕事に有効である	44.4
未使用	0人	②	重量物を持つ作業	25.0	未使用	0人	②	家事	28.6	②	重い物が持てること	30.0	②	把持力が強い	11.1
就労なし	1人	③	物を押さえる作業	25.0	未回答	1人	③	重量物を持つ/日常生活全般/訓練学校で使用	14.3	③	装飾性と機能性を兼ね備えていること/把持力が強い	16.7	③	重い物がもてる/ADLが拡大する/装飾性がよい/着脱・操作がしやすい	11.1

瘻痕等がある者

6人

使用	5人	①	両手で物を持つ作業	30.0	使用	6人	①	外出時に利用している	18.2	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	23.1	①	仕事に有効である	33.3
未使用(注)	1人	②	把持力が強い作業	20.0	未使用	0人	②	常時使用している	18.2	②	ハーネスが不用であること	23.1	②	自分の手のように便利である	33.3
就労なし	1人	③	指先位置の固定が必要な作業	20.0	未回答	0人	③	把持力が必要な作業/両手で物を持つ/重量物を持つ/衣服着脱/車の運転/訓練学校で使用/家事	9.1	③	重い物が持てること	23.1	③	両手で持てる/装飾性がよい	16.7

幻肢がある者

14人

使用	13人	①	把持力が強い作業	20.0	使用	10人	①	常時使用している	13.3	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	25.0	①	仕事に有効である	23.8
未使用	0人	②	重量物を持つ作業	20.0	未使用(注)	2人	②	把持力が必要な作業	13.3	②	重い物が持てること	25.0	②	両手で持てる	14.3
就労なし	1人	③	両手動作が必要な作業/両手で物を持つ作業/指先位置の固定が必要な作業	15.0	未回答	2人	③	重量物を持つ/家事	13.3	③	ハーネスが不用であること	21.9	③	自分の手のように便利である	14.3

非切断肢

健常でない者

5人

使用	4人	①	把持力が強い作業	50.0	使用	3人	①	把持力が必要な作業	40.0	①	ハーネスが不用であること	42.9	①	仕事に有効である	42.9
未使用(注)	1人	②	重量物を持つ作業	25.0	未使用	0人	②	両手で物を持つ	20.0	②	重い物が持てること	42.9	②	両手で持てる	28.6
就労なし	0人	③	物を押さえる作業	25.0	未回答	2人	③	重量物を持つ/日常生活全般	20.0	③	装飾性と機能性を兼ね備えていること	14.2	③	両手動作が可能/ADLが拡大する	14.3

義手経験

能動式義手の経験のある者

17人

使用	15人	①	指先位置の固定が必要な作業	26.9	使用	12人	①	外出時に利用している	19.0	①	ハーネスが不用であること	29.3	①	仕事に有効である	28.6
未使用(注)	1人	②	重量物を持つ作業	23.1	未使用(注)	3人	②	把持力が必要な作業	14.3	②	装飾性と機能性を兼ね備えていること	26.8	②	把持力が強い	14.3
就労なし	1人	③	両手で物を持つ作業	19.2	未回答	2人	③	重量物を持つ	14.3	③	重い物が持てること	24.4	③	両手で持てる/ADLが拡大する	10.7

回答が多かった順に第3位まで記載している。 「」については、自由記入での回答を類型化して集計したものである。		装着後1年経過後																
		ユーザー回答																
		職業生活						日常生活						他の義手に比べ優れている点		今後必要な理由		
		使用の有無		使用している作業		%	使用の有無		使用している作業		%	%	%					
上腕切断者 <small>※断端部の瘻管等はなく、全て幻肢があり、かつ、電動式義手の経験有り。</small>	4人	使用	2人	①	両手動作が必要な作業	100.0	使用	4人	①	外出時に利用している	50.0	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	50.0	①	仕事に有効である	33.3	
		未使用(注)	1人	②			未使用	0人	②	把持力が必要な作業	16.7	②	ハーネスが不用であること	25.0	②	把持力が強い	16.7	
		就労なし	1人	③					③	両手で物を持つ/家事	16.7	③	重い物が持てること	25.0	③	機能面に優れている/ADLが拡大する/装飾性がよい	16.7	
利き手	利き手を切断した者	3人	使用	2人	①	両手動作が必要な作業	100.0	使用	3人	①	外出時に利用している	40.0	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	42.9	①	仕事に有効である	40.0
			未使用	0人	②			未使用	0人	②	把持力が必要な作業	20.0	②	ハーネスが不用であること	28.6	②	把持力が強い	20.0
			就労なし	1人	③			未回答	0人	③	両手で物を持つ/家事	20.0	③	重い物が持てること	28.6	③	ADLが拡大する/装飾性がよい	20.0
断端部の状態	疼痛がある者	1人	使用	1人	①	両手動作が必要な作業	100.0	使用	1人	①	把持力が必要な作業	100.0	①	装飾性と機能性を兼ね備えていること	33.3	①	仕事に有効である	50.0
			未使用(注)	0人	②			未使用	0人	②			②	ハーネスが不用であること	33.3	②	ADLが拡大する	50.0
			就労なし	0人	③			未回答	0人	③			③	重い物が持てること	33.3	③		

注)未使用の理由

【前腕切断者】

職業生活時の未使用者1名・・・肩より上の高さの作業を長時間行い肩を痛めてしまったから。

日常生活時の未使用者3名・・・「装飾用で十分である」「使用するような作業がなく、家族等周りの人が助けてくれている」「義手が重い。装着しなくても不自由がない」

【上腕切断者】

職業生活時の未使用者1名・・・「重い物を持つことが出来そうでない。故障してしまいそうで。」